

放射性物質全域調査及び土壌回収作業進捗状況(平成20年5月)

実施項目		実績 (5月)	予定 (6月)
所内 全域 調査	1. 第1次調査	(完了)	
	2. 第2次調査	(調査対象場所の建物などが撤去されるまで 休止)	
土壌 回収 作業	1. 回収計画立案	(完了)	
	2. 準備作業	作業用テントCの管理区域拡大準備	作業用テントCの管理区域を拡大
	3. 回収作業	鉱石由来土壌回収場所での回収作業を継続。 作業用テントA、Bの管理区域を解除(5月 23日)し、解体撤去作業を開始	鉱石由来土壌回収場所での回収作業を継続。 作業用テント A、Bの解体撤去を 完了
	4. 回収土壌などの保管	5月31日現在、精製済ウランを含有する土壌 などを1.5m ³ 角型容器で174個(注1)(200 リットルドラム缶換算1,305本)回収し、放 射性廃棄物として施設Sに1個、173個を地下 保管庫(施設N)に保管。鉱石由来のウラ ン、トリウムを含有する土壌などを1.5m ³ 角 型容器で674個(注1)回収しS棟に保管	
	5. 行政庁への手続き	作業用テントA、Bの解体撤去、作業用テ ントCの管理区域拡大に関する核燃料物質使用 変更許可を5月22日付にて取得	
そ の 他	1. 環境モニタリング	空間線量当量率及び空気中の放射性物質濃度 の測定。地下水の採取と分析	同左
	2. 放射性廃棄物の保管(注2) (地下保管庫)	5月31日現在、200リットルドラム缶152本、 1.5m ³ 角型容器2,929個、2m ³ 角型容器828 個、200リットルドラム缶換算で合計30,400 本を地下保管庫(施設N)に保管。なお、地 下保管庫にはNDC社が、1.5m ³ 角型容器で 1,180個(200リットルドラム缶換算8,850 本)を保管	

(注1) 回収作業を開始してからの累計で示す。

(注2) 「旧核燃料試験研究施設整備」のものに加えて土壌回収作業での回収土壌なども含みます。